

『視覚障害者のパソコン技術習得のための相互支援事業』

～NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎～

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎について

団体の概要

【団体設立】 2002年

【会 員 数】 15人

【設立目的】

障害者及び障害者関連作業所・団体に対してコンピュータの活用支援を行うとともに、当該団体等に対しNPO法人等設立・運営の支援に関する事業を行い、障害者の自立支援及び当該団体等の活動の向上を図り、もって障害者福祉の向上に寄与することを目的とする。

【主な事業】

- (1) ポータルサイト(総合)『市民活動の広場あまがさき』の運営委託事業
- (2) 障害者コンピュータ教室開催事業(視覚障害者教え合い教室など)
- (3) 災害時障害者支援センター準備の自主事業
- (4) 市民まつり実行委員会に参加
- (5) 尼崎市内の相互連携団体「尼崎NPO法人活動協議会」に参加

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

実施目的

視覚障害者にとってパソコンはコミュニケーションの道具にもなり、音声読み取り装置によりインターネットなどから幅広く情報が得られる。パソコン習得の希望者は多いが、文字や画像による画面表示が主で、自力でのパソコン習得が困難である。

集まった視覚障害者が、ボランティアの力を借りて、相互支援によりパソコン力向上を目指す。例えば、年賀状などが作れるようになる、インターネット検索によって情報を得るなどが目標。

実施内容

月に2回ほど集まり、暑中見舞いハガキ、年賀状、インターネットラジオセッティング、など、視覚障害者がパソコンを使いこなせるよう教え合いながら、相互支援をする。

機器の準備などは、肢体障害者・ボランティアが数名支援に入る。また月1回、(株)ベイ・コミュニケーションズ社よりボランティア数名が来所し、画面読み取りサポートをしていただいた。

【対象者】

パソコン習得中及び初心者で相互支援を目指す視覚障害者。

【実施時期・回数】

10月～3月第1・第3火曜日 11回

【実施場所】

尼崎市立身体障害者福社会館

【周知方法】

尼視協の会報、公民館や地区会館にチラシ配布

【参加者数】

延総数182人(うち障害者125人、その他地域住民等57人)※1回あたり平均8.3人



～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

事業の効果・課題などについて

実施して良かった点

- ・インターネットなど文字・画像情報を視覚障害者が得易くなった。
- ・年賀状・あいさつの手紙などが、プリンターで打ち出して知人・親戚へ送付できるようになった。
- ・視覚障害者が相互に教え合うことで親しくなれ、友誼が深まった。
- ・支援ボランティア(肢体障害者3名を含む)と広く交流でき、気持ちが通い合った喜びが持てた。

反省・課題など

- ・作成した案内ちらしや案内点字版を有効に配布できていない。手分けして、視覚障害者・家族・知人へ渡るような手配が課題である。
- ・11回分の視覚障害者用入門テキストを作ったが、Windowsが年々バージョンアップを続けるので、キータッチなどが変容する。それに合わせたテキストの改訂が課題である。

今後の事業について

- ・コンピュータを学びたいと願っている視覚障害者はまだまだ多いと思われる。そこへ届く案内を工夫したい。
- ・視覚障害者に便利なソフトやツール(機器)がたくさんあります。それらを試験購入し、使い勝手を勉強し合っ、情報交換し合いたい。

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～